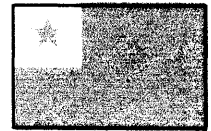


国際共通語エスペラントとは

●概要

国際共通語エスペラントは、現在のポーランドの地にいたユダヤ人眼科医
ザメンホフが創案し、1887年7月27日に発表した言語。

エスペラントは特定の民族、国家の言語と異なり、使用者は社会的・
経済的・政治的背景をこえて平等な立場で話し合える。豊かな表現力を持ちながらも、
発音に例外がなく、文法が合理的であることから、一般の民族語よりも習得が容易である。



シンボル

●エスペラントの使用者（エスペ란チスト）

日本のエスペ란チストは約2,000～3,000名、世界中のエスペ란チストは百万人と推定される。

日本のエスペ란チストを代表する組織は特例財団法人日本エスペラント学会（東京・早稲田；
J E I [<http://www.jei.or.jp>]）、世界のエスペ란チストを代表する組織は世界エスペラント協会
（本部はオランダのロッテルダム；U E A [<http://www.uea.org>]）である。

エスペ란チストが世界中に散在していることから、エスペラントを使うことで世界中に友だち
をつくれる。また、エスペラントのラジオ放送・雑誌、またはインターネット等により、情報の
収集・交換やエスペラントの講習も可能である。

●エスペラント大会

世界エスペラント大会（Universala Kongreso=UK）

最大の国際行事で毎年夏の1週間に数十か国の2,000～4,000名の参加で開催

毎年、日本からも約200名が参加

・第92回世界大会は、2007年8月4日～11日に日本の横浜市で開催。57か国の1,901名が参加

・第94回世界大会は、2009年7月25日～8月1日にザメンホフが生まれたポーランドの
ビャウィストクで開催。61か国の1,860名が参加

・第95回世界大会は、2010年7月17日～24日にキューバのハバナで開催

日本エスペラント大会（Japania Esperanto-Kongreso=JEK）

最大の国内行事で毎年秋の三日間に全国の約300名の参加で開催

・第96回日本大会は、2009年10月10日～12日に山梨県甲府市で開催
[<http://members.jcom.home.ne.jp/verda/jek96.htm>]

・第97回日本大会は、2010年10月9日～11日に長崎市で開催

アジアエスペラント大会（Azia Kongreso de Esperanto=AKE）

・第6回アジア大会は、2010年6月19日～23日にモンゴルのウランバートルで開催

山梨エスペラント会（Jamanaŝi Esperanto-Societo=JES [http://blog.goo.ne.jp/jes_esperanto]

■設立

1948年2月15日、参加者15名で設立

■活動

・現在、会員数20名

・機関紙「La Suno」（最新号は第90号）

・例会：2回／月

・第96回日本エスペラント大会準備（現在）

・エスペラント入門講習会開催（学習希望者は、お問い合わせ下さい。条件次第で出張授業も可能）

■連絡先

・事務局

連絡先：〒400-0026

甲府市塩部3-8-9 長澤方

電話：055-253-2649

・会長（工藤 尚）

連絡先：〒400-0075

甲府市山宮町3359-15

電話：055-251-7565